

Fluke 検査機：DSX-5000

メタル配線のテスト・ソリューションである DSX ケーブルアナライザーは、最大 10 ギガビットのイーサネットの対撚り線配線を対象とした測定と認証試験が可能で、Cat 5e、6、6A、クラス FA のすべての配線規格に対応しています。

配線認証は、システム設計からシステムの承認までにわたるプロセスの一部を構成します。

このプロセスが迅速に進めば進むほど、より利益性が高まります。しかし、プロセスの進行を遅くする要素はたくさんあります。たとえば、テスターを正しくセットアップできない、不適切な範囲までテストを行った、障害を解析してトラブルシューティングできるスキルのある技術者がいない、結果の解釈ミス、顧客が理解できないテスト・レポートを作成した、などです。

Versiv ケーブル認証製品ファミリーの一部である DSX ケーブルアナライザーでは、正確でエラーのない認証を行うことができます。配線敷設の現場では、作業を複数のチームで行い、配線メディアも様々に変化し、試験要件も複数のにわたります。その一方、収益の差はほんの数パーセントです。

DSXはメタル配線の認証を行い、作業の管理を容易にしながら、配線システムが確度レベルVを含むすべての規格に適合していることを認証し、さらに顧客からのシステム承認の取得を迅速化します。DSX は、専門技術者やプロジェクト・マネージャーだけのものではありません。

様々なスキル・レベルの担当者が設定、操作、テスト・レポートの改善を図ることができると同時に、さまざまなプロジェクトを管理できます。

独自の機能：

- ・Versiv を使用することで、テスト・プロセスのすべての手順がスピードアップし、ケーブル・テスターをかつてないほど効果的に使用可能
- ・ProjX 管理システムにより、ジョブの初期設定からシステム承認までの作業が容易になるとともに、不必要な手順をなくし、すべてのテストを毎回、一度で正しく完了可能
- ・Taptive ユーザー・インターフェースにより、あらゆるレベルの技術者が高度なデータ解析と簡単な設定が可能
- ・LinkWare 管理ソフトウェアは、比類のないテスト結果の解析と専門的なテスト・レポートを提供します
- ・問題を特定するためのシンプルな障害診断機能を使うことで配線障害の是正時間を短縮可能

性能：

- ・最短の認証取得に貢献する、Cat 6A テスト時間 10 秒
- ・クロストークおよびシールド不良の発生箇所の距離をグラフィカルに表示し、トラブルシューティングを迅速化
- ・フル・グラフィックスで最大 12,000 件のテスト結果の管理
- ・静電容量方式タッチスクリーンを使用したケーブル・タイプ、規格およびテスト・パラメーターの速やかな選択とセットアップの容易化
- ・10 億以上のリンク・レポート作成実績のある LinkWare 管理ソフトウェア

規格対応への柔軟性：

- ・審議中の ISO (IEC WG9 標準 IEC61935-1) 確度レベル V、1000 MHz の要件に適合
- ・IEC61935-1 および 11801-1-4、IEEE 802.3af、IEEE 802.3at、ANSI/TIA/EIA-568-C.2 で規定される、パワー・オーバー・イーサネット (PoE) に関連する抵抗値の不均衡規格をサポート
- ・次世代の平衡度ドラフト規格 - IEEE 802.3、TIA TR42.7

現在と将来の配線業務に対応する Versiv プラットフォーム

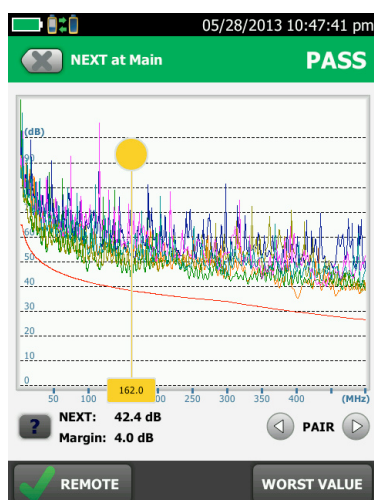
審議中の ISO (IEC WG9 標準 IEC61935-1) 確度レベル V、1000 MHz の要件に適合するセンター・プラグ設計、すべてのハードウェア・アップグレードをサポートする将来の拡張性に対応するデザイン

DSX-5000 ケーブルアナライザーは、10 ギガビット・イーサネット配線のテストおよび認証試験を可能にします。すなわち、既存の Cat 5e、Cat 6、Cat 6A またはクラス FA などの配線システムの種類に関係なくあらゆる業界規格に従った試験を行います。パーマネントリンク・テスト用のセンター・プラグは、クラス FA、1000 MHz に従ったフィールド・テストをサポートするために IEC により導入された確度レベル V 指定に対応します。これにより、DSX は、許容クロストーク・マージンの半分以上という IEC レベル V を超える仕様を達成し、全周波数帯に渡って確実に信頼性の高い結果を提供します。Cat 6A のような高性能な配線システムは一般的に干渉やノイズ・マージンへの許容度が少なくなっています。さらに、リンク間の複雑なエイリアン・クロストーク認証試験が、10GBASE-T テストの測定機能を各メタル・モジュールに統合することで簡素化されました。

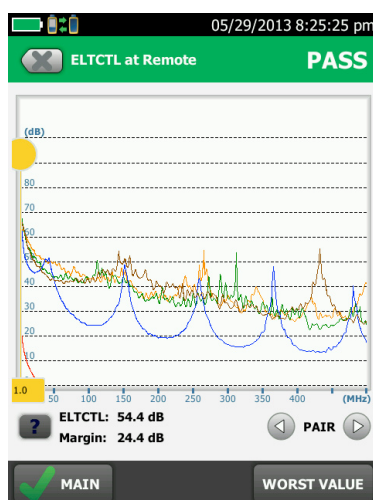
DSX は、横方向変換損失 (TCL) および等レベル横方向変換損失 (ELTCTL) などの平衡度測定をサポートする初めてのフィールド・テスターです。TCL および ELTCTL は、配線規格で記載されている重要な測定パラメーターです。これらの規格には、平衡度に関する最小性能が定義されており、耐ノイズ性能の見極めに役立つ重要な

パラメーターです。この平衡度特性は、電磁干渉 (EMI) の影響の見極めに役立つ主要パラメーターであるため、業界のネットワーク・オーナー/管理者は特に、この特性を重要視しています。

フルーク・ネットワークスの DSX-5000 ケーブルアナライザーは、確度レベル IV については IEC-61935-1 仕様に従って Intertek (ETL) 認証に適合し、レベル IIIe については ANSI/TIA-1152 仕様に従ってドラフト確度レベル V に適合しています。



TLC グラフ表示画面



ELTCTL グラフ表示画面

ProjX 管理システムで複雑な作業を容易に管理

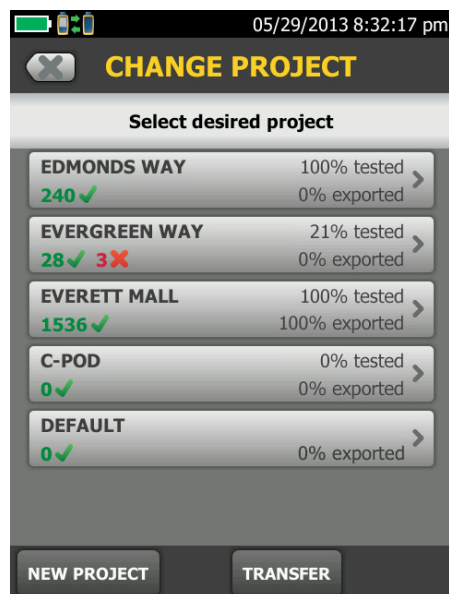
フル・グラフィックスで最大 12,000 件のテスト結果の管理

複数のチーム、テスター、要件が関わる複数のジョブのテストの管理は、時間がかかり、管理が困難です。ジョブが大きくなればなるほど、プロジェクトの整理がこれまで以上に重要になります。

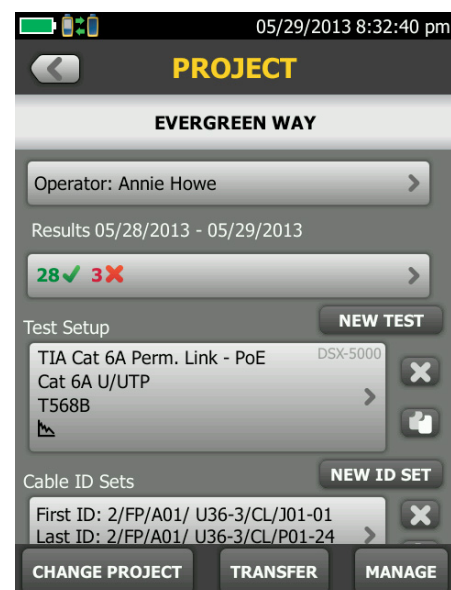
DSX- 5000 の新しい ProjX 管理システムでは、ジョブに特有のすべての詳細情報を簡素な名前で保存する個別のプロジェクト・ファイルがつけられます。プロジェクト開始後、そのジョブ特有の詳細を再入力する必要はありません。

これにより、ジョブを切替えたり、1 つのジョブで複数のテスターを利用する際の設定エラーやファイルの紛失を最小限に抑えます。また、テスト結果をケーブル ID 別に表示したり、重複なく変更内容をマージしたり、最後に装着したメタルまたはファイバー・モジュールの設定に常に戻すデフォルト設定ができます。

さらに、ProjX 管理システムでは、0 ~ 100 のパーセント表示でジョブごとの完了までのステータスがリアルタイムで表示されるため、再確認が必要なすべてのテストを特定して、見落としがないことを確認するのに役立ちます。「Fix Later(後で修正)」を選択すると、施工を修正するためのパンチ・リストまたは To-do リストが自動的に作成されます。ProjX はプロジェクト・マネージャーおよびグループ・リーダーの作業効率を大幅に改善します。



プロジェクト・メニュー画面にジョブごとの完了率を表示



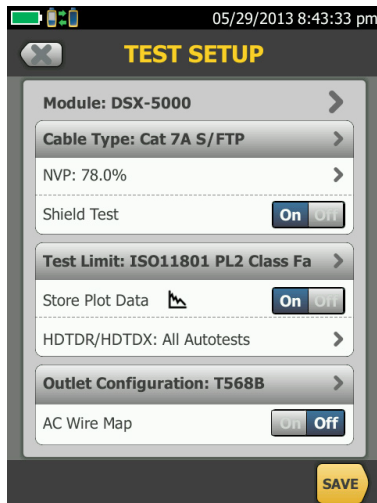
プロジェクト詳細画面にプロジェクト情報を表示

Taptive ユーザー・インターフェースはセットアップを簡素化し、エラーを排除してトラブルシューティングを高速化

静電容量方式により、テスターを素早くセットアップ、すべての規格に対応

Taptive ユーザー・インターフェースは、未習熟の技術者でも複数のメディア・タイプや試験要件にわたってテストを

間違いなく実行できるように簡素化されています。



静電容量方式の Taptive ユーザー・インターフェースは、メニュー画面からすべてのジョブに簡単にアクセス可能です。処理するジョブにタッチすると、実行しなければならないテストが大きな画面に表示されます。

また、アニメーション化された手順により、テスター構成を簡単に設定し、テストを正確に行うことができます。

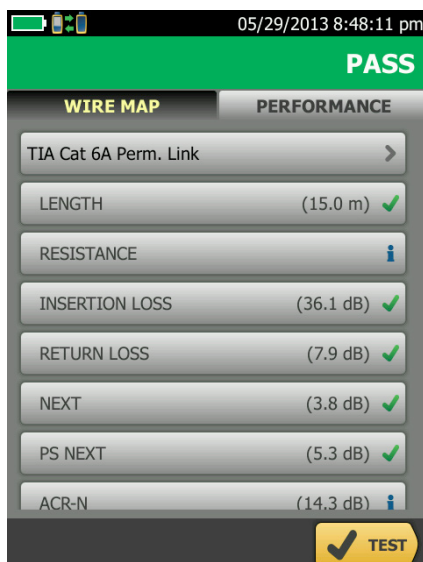
シンプルなセットアップ

卓越した実行速度

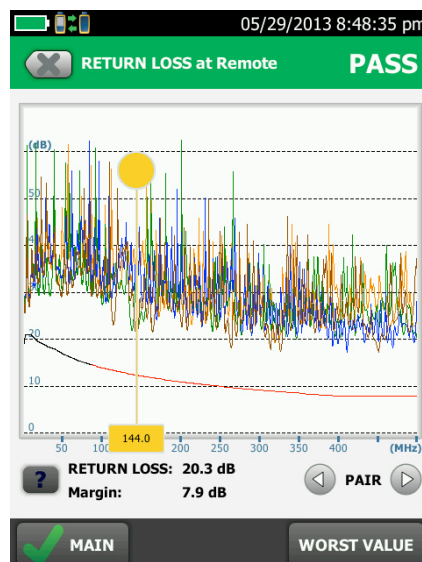
10 秒の Cat 6A テスト時間で認証結果を短時間で提出

多数のテストをこれほど高速に実行するテスターは他に存在しません。Cat 6A クラスのメタル線認証を10秒で完了し、2本のファイバーを2波長で双方向にわずか3秒で認証します。

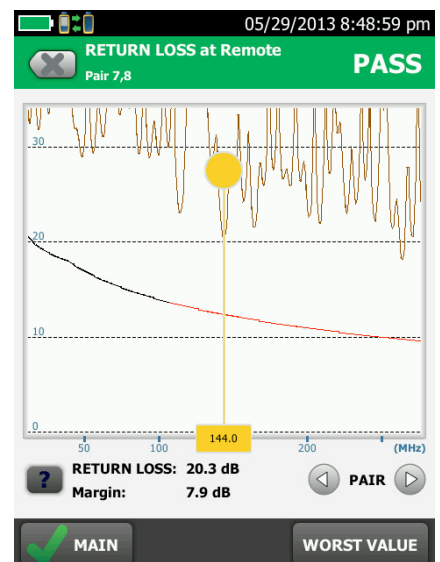
世界中のケーブル・ベンダーからの支持を受けた Versiv は、短時間でプロジェクトを完了させ、システム承認を迅速に取得可能にします。合否結果を即座に取得し、値ごとに個々のテスト・パラメーターを簡単に確認し、グラフの特定の領域を詳細表示することができます。



テスト結果



リターンロス・グラフ



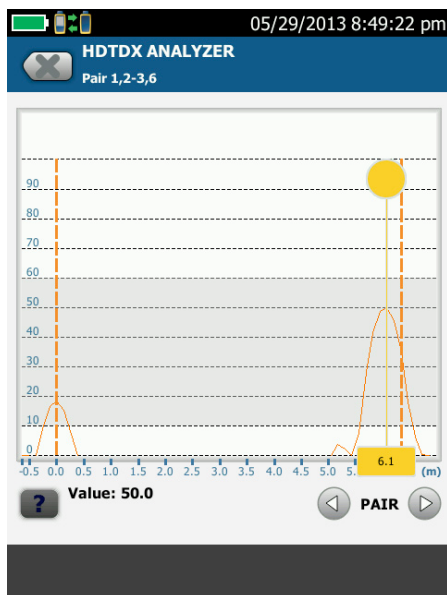
ピンチ&ズームで詳細表示

熟練技術者と同等なトラブルシューティング能力

クロストークおよびシールド不良の発生箇所の距離をグラフィカルに表示し、トラブルシューティングを迅速化

DSX は、専用の診断機能によってケーブル障害を是正する時間を短縮します。簡単なワン・ボタン・テストですべてのテストを実行してデータを保存できます。グラフィカルな結果画面では、リンクのどの場所でクロストーク、リターン・ロスあるいはシールド障害が発生しているのかが正確に確認できるためケーブル長に沿った調査ができます。

従来のテスターの場合、診断機能について 250 MHz までという周波数の制限がありましたが、DSX ケーブルアナライザー には制限がありません。この画面を見れば、初心者でも、上級ユーザーでも、同様に問題のある結果を即座に特定し、対応することができます。また、この結果は現場から離れた後で再度解析できるよう、テスト結果と一緒に保存することができます。



HTDTC (High Definition Time Domain Cross talk) が、遠端接続に問題があることを明確に表示

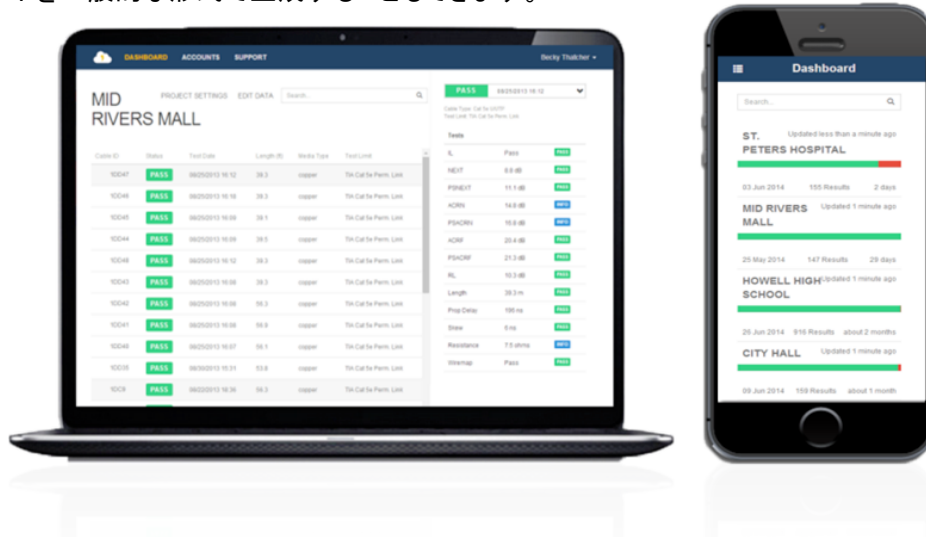
Linkware Live

LinkWare Live は、複数のプロジェクトを管理するケーブル技術者を対象としたフルーク・ネットワークスの Software as a Service であり、他に例を見ないジョブの可視性と優れたプロジェクト管理をいつでもどこでも迅速かつ簡単に低コストで実現します。

LinkWare Live には、わかりやすいダッシュボードが用意されており、プロジェクトが予定どおりに進んでいることを確認するためのプロジェクト状況やプロジェクト活動の概要が表示されます。これにより、複数のテスターのテスト結果を直接アップロードして集約できるようになるため、データ管理における障害がなくなります。

使いやすいブラウザベースでプロジェクトやテスト結果をリアルタイムにすばやく検証できるため、間違ったテストや

テスト結果の欠落などによる作業し直しを回避できます。プロジェクトまたはテスト結果を検証して確認する場合は、スマート・デバイスのブラウザを使用します。また、LinkWare™ ケーブル・テスト管理ソフトウェアを LinkWare Live サービスに接続することで、テスト結果を LinkWare ケーブル・テスト管理ソフトウェアに直接ダウンロードして専門的なレポートを一般的な形式で生成することもできます。

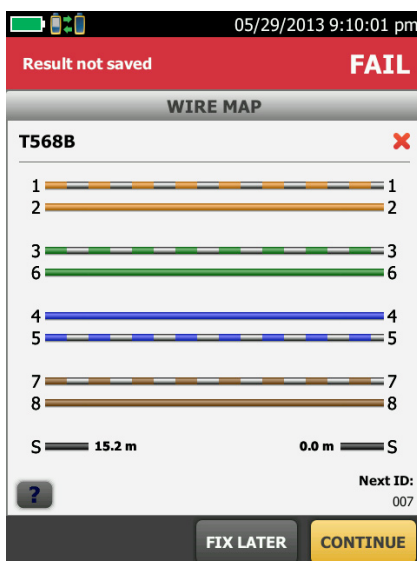


DSX-5000 ケーブル・アナライザは、LinkWare Live サービスに接続して、テスターからの結果を直接アップロードします。これにより、テスト結果にどこからでもリアルタイムにアクセスできるようになります。

これまでの、シールド連続性は直流(DC) 測定であり、障害までの距離は測定されません。

DSX ケーブルアナライザー は、特許を取得した AC 測定手法を利用してシールド整合性問題の発生箇所までの距離をレポートする初のフィールド・テスターです。この機能は特に、データセンターで重要です。他のテスターでは、たとえシールドが接続されていなくとも接続されていると表示されます。これは、データセンターのラックが共通接地されているためです。

他のテスターでは、シールドに破損があることがわかりますが、正しい場所を特定できないため、どこから再作業を開始すればよいかわかりません。



ワイヤーマップー障害、破損、短絡までの距離を表示

LinkWare 管理ソフトウェア

便利な多機能 LinkWare 管理ソフトウェア・アプリケーションを活用することで、DSX-5000 ケーブルアナライザーのユーザーは容易に ProjX 管理システム・データにアクセスし、レポートを生成し、テスターのソフトウェアをアップグレードできます。また、プロジェクト・マネージャーは、ワークフローを管理してテスト結果を統合することができます。ユーザーは、会社のロゴをレポートに加えて最後の仕上げを行い、システム承認のために顧客に完成品をそのまま提供できます。使用しているフルーク・ネットワークスのメタル線テスターまたはファイバー・テスターに関係なく、ビジネス・ツールをシンプルに保つ LinkWare は、充実したレポート機能を持つソフトウェア・パッケージです。

新しい自動統計レポート・オプションの LinkWare Stats を使用すると、リンク・レポートの個々の結果では無く、ケーブル・インフラ全体の傾向を容易に確認することができます。分析後は、LinkWare テスト結果データをチャートおよびダイアグラムに変換し、配線設備のパフォーマンスを明確にします。このレポートではケーブル・インフラ全体の性能がコンパクトなグラフ形式にまとめられるため、マージンの確認や性能の不連続性の特定が容易になります。